

カスタマーモメンタムと株式リターンの実証研究

吉野 貴晶 CMA
森田 充
津田 博史 CMA
大平 貴之 CMA

本稿は、日本企業を対象に、Cohen and Frazzini [2008] が示すカスタマーモメンタム戦略に関して、企業ネットワークをグローバル、2階層先まで拡張して検証を行った。ネットワーク拡張がリターンとの関係に効果的とならないケースも確認され、実務への応用には更に検証や理論的考察を行う必要があるが、国内・1階層先のものよりリターンに有意な関係となる戦略が観察されている。なお、本稿は本文と補論で構成されており、詳細を補論で述べている部分については本文中に注が付されている。



吉野 貴晶（よしの たかあき）

ニッセイアセットマネジメント(株) 投資工学開発センター長。筑波大学大学院博士課程修了（システムズ・マネジメント博士）。情報システム研究機構統計数理研究所リスク解析戦略研究センター客員教授。青山学院大学大学院国際マネジメント研究科（青山ビジネススクール）客員教授。日本金融・証券計量・工学学会（JAFEE）理事。著書に『株式投資のための定量分析入門』（日本経済新聞社）など。



森田 充（もりた みつる）

青山学院大学大学院国際マネジメント研究科教授。九州大学経済学部を飛び級入学のため退学、同大学院経済学府修士課程、及び博士後期課程修了（博士：経済学）、2007年より青山学院大学大学院国際マネジメント研究科助教、准教授を経て、19年より現職。国際マネジメント研究科にて日本証券アナリスト協会寄付講座「企業分析とファンド・マネジメント・シミュレーション」を担当。



津田 博史（つだ ひろし）

同志社大学理工学部教授。専攻は、金融工学、データサイエンス。京都大学工学部卒業、東京大学院工学系修士課程修了。総合研究大学院大学数物科学研究科博士課程修了。博士（学術）。野村総合研究所、ニッセイ基礎研究所主席研究員を経て、2008年から現職。日本金融・証券計量・工学学会代議員、元会長。情報システム研究機構統計数理研究所客員教授。京都大学大学院医学研究科嘱託講師。著書に『株式の統計学』（朝倉書店）など。



大平 貴之（おおひら たかゆき）

ニッセイアセットマネジメント(株) 運用企画部投資工学開発室チーフ・ファイナンシャル・エンジニア。1997年名古屋大学経済学部卒業。信金中央金庫を経て、2008年同社入社。リスク管理業務、運用企画業務などを担当の後、17年より現職。